

支所別指標(2006年度)		上野支所	伊賀支所	島ヶ原支所	阿山支所	大山田支所	青山支所
契約件数	目標	未設定	未設定	未設定	未設定	未設定	未設定
	実績	89	8	2	2	3	5
事業目標指標に関する説明・留意事項	支所別契約件数には名張市における契約件数19件が含まれていないため、契約総件数との差異が生じている。						
事務事業の評価							
目的達成(対象が抱える課題解決)のために行った具体的な取組内容(手段)と結果	利用者の増加に伴い、個々の利用者の抱える課題も多様化している。課題に対応するため、専門員、生活支援員のレベルアップを目的とし、県社協の研修への参加および毎月1回、生活支援員月例会を開催し、制度や障害についての理解を深める勉強を継続して行ってきた。						
総合的見地からの評価コメント(成果の有無、成果の内容と判断根拠・理由)	生活支援員月例会では、テーマに沿って外部の専門職の方を講師に招き、講演や意見交換などを行ってきた。毎回8割前後の生活支援員の参加があり、活発な発言や質疑応答が見られた。生活支援員の、ケースに対応しようとする意識の高さが伺われた。						
残された課題とその要因	研修終了者の中から8名が生活支援員として活動を始めているが、今後さらに習熟研修を行う必要がある。						
事務事業の展開							
2007年度 施策から見たこの基本事業の取組方向	注力	部課(担当者)としての方針				見直しの方向	
	↑	ニーズが急速に高まっており、事故防止と確実な実施が求められる。				支援機能強化のための取り組み	
評価結果を踏まえた2007年度の取組方向	「生活支援養成講座」の定期的な開催。利用者が上野支所に集中しているため、担当地域の見直し。生活支援員・月例会(勉強会)の強化、レベルアップ。養成研修修了者の習熟研修開催。						